

私のふるさと大信

渡部 安里 福島県白河市 十四歳

部活動の帰り道。自転車に乗って家まで帰る時間が、私にとって一番のお気に入りの時間です。心地よく頬にあたる風、権太倉山に沈む夕日に照らされてほっとします。

狭い道路には歩道はありません。そこを通る大信の地元の人たちは、私達中学生の自転車を見つけると、減速して横をゆっくり通り過ぎてくれます。そんな優しい気遣いしてくれる地元の人たちに私は、いつも感謝しています。

私はこの大信の自然とここに住む人たちが大好きです。買い物をするのに不便だなと思う時がありますが、四季おりおりの緑の色、草花、鳥のさえずり、隈戸川のせせらぎ、風の音、太陽のぬくもりを感じる事ができ、心から幸せだなと思います。

私の名前は、「安らかに里に育つ」という意味が込められて名づけられました。この名のおり、美しい大信の里を守りながらいつまでも心安らかにくらししていければと思います。そして、自分の子供たちもこの大信で、伸び伸びと育てることができればと思います。

そのために取り組んでいきたいことが四つあります。一つは、ごみのポイ捨てをしない。二つ目は、花と緑を愛する。三つ目は、動物を大切にすること。四つ目は、地域の人たちへのあいさつを忘れない。この四つの実行し、緑あふれる大信を守っていききたいです。